

■千姫(天樹院) 徳川秀忠の長女。豊臣秀頼と結婚させられ、大坂の陣で夫が自害、独特の地位で長い余生。
せんひめ
慶長の役・・・1597＝ 京都伏見城に生れる。_のちの2代将軍徳川秀忠の長女。母は浅井長政の娘お江与の方(崇源院)。

関ヶ原の戦・・・1600＝ 3歳：

歌舞伎始・・・1603＝ 6歳：_豊臣秀頼と結婚。伏見城から乗船、大久保忠隣が従って大坂城へ入奥。秀頼は浅野幸長に迎えさせた。

江戸城完成・・・1606＝ 9歳：
家康駿府退隠1607＝10歳：

諸法度制定・・・1615＝18歳：_大坂落城、秀頼は自害した。落城に先立ち、大坂方は秀頼母子の助命をもくろみ、千姫を脱出させた。城脱出時、千姫の侍女刑部卿が千姫を櫓外に連れ出し、熊野新宮の住人堀内主水に託す。主水は千姫を背に坂崎直盛の陣前を通り、直盛が供をして茶臼山本陣の徳川家康のもとにとどけた。祖父家康は喜んだが、父秀忠は'主人秀頼とともに果つべきだ'と対面を許さなかった。2人に子はなかった。

徳川家康没・・・1616＝19歳：*本多忠政の長子忠刻(母は家康の子信康の娘)と再婚。この時、坂崎直盛が千姫を奪おうと謀り、家臣に殺された。これは千姫を助けた者に姫を与えるという約束を家康が守らなかったことによる。

吉原遊郭始・・・1617＝20歳：入奥。化粧料10万石が与えられた。

・・・1618＝21歳：長女勝子(督姫、円成院)を出産。

菱垣廻船始・・・1619＝22歳：長男を出産するも、

利根川付替始1621＝24歳：夭折。以後、流産を繰り返すなど子宝に恵まれず、

徳川家光将軍1623＝26歳：

イスパニヤ断交・・・1624＝27歳：

人身売買禁止1626＝29歳：*夫忠刻が死去し、落飾、天樹院と称する。続いて姑・実母も相次ぎ死去。勝子と江戸に帰って竹橋御殿に入り、東の丸様と称される。

・・・1628＝31歳：勝子が池田光政に嫁いだため、以後、一人暮らしとなるが、

徳川秀忠没・・・1632＝35歳：

鎖国令始・・・1633＝36歳：

家光鎖国完成1641＝44歳：

初の高札・・・1642＝45歳：

寛永飢饉終・・・1643＝46歳：鎌倉の東慶寺の伽藍を再建。

明滅亡・・・1644＝47歳：*迷信を避けるために江戸城から移ってきた将軍家光の側室お夏とその子で家光の次男綱重とともに暮らすようになり、このことで、大奥などにも隠然たる勢力をもつようになる。

徳川家光没・・・1651＝54歳：

明暦の大火・・・1657＝60歳：_大火で御殿が焼失し、飯田町御殿に移居、北の丸様と称される。

・・・1660＝63歳：

酒井忠清大老1666＝69歳：同所において、_没した。